

40102水運業における死傷災害100事例まで（2018年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2018	2	9 ～ 10	船を繋ぐロープを持ち乗船場の階段を踏み外し川に落ち、階段にしがみついて上がるときに、左肩と脇腹を強打し打撲した。	63	1	413	100 ～ 299 人
2	2018	3	14 ～ 15	岸壁にて係船作業中、陸上よりロープをとろうとした。岸壁に30～50cmの段差があり、降りた際に左足甲に痛みを感じ、甲あたりが腫れて左足をつけられないほど痛くなった。	23	19	419	50 ～ 99 人
3	2018	3	14 ～ 15	作業船を後方へシフトする作業を終了し、岸壁に置いていた物を片付けようとしたときビットにかけたロープが輪止めに引っ掛かっているのに気付かなかったため、船が動揺した際、輪止めからロープが外れ、跳ね上げたロープで右手首と肘の中間を骨折した。	58	4	379	10 ～ 29 人
4	2018	4	7 ～ 8	19バースで、網取ボードに乗船し大型船の係留作業を行っていた。3本目の係留ロープを陸上作業員に渡し、タツから係留ロープを外すときに腰に痛みを感じたが、続けて4本目を渡しタツから係留ロープを外した際に腰の痛みが強くなった。	42	19	379	10 ～ 29 人
5	2018	5	6 ～ 7	鵜飼観覧船の船上で操船中に、雨で濡れていたため、竿を川に刺したときに足が滑って転んでしまい脇腹が船の床に当たって、肋骨を折った。	24	2	239	100 ～ 299 人

6	2018	6	8 ～ 9	倉庫前の駐車場で荷積み作業中、大型ウイング車のアオリを開く際、アオリのバネ部が故障していることに気付かずにアオリを降ろしたところ、勢いよくアオリが開いて頭部に当たり、右側上半身が地面に叩きつけられた。	49	6	221	1～ 9人
7	2018	8	9 ～ 10	船内で荷役作業後に、貨物倉庫への入口のドアを閉める際、ドアが歪みによって閉まりにくくなっているため、何度かドアを強く引っ張ったところ、腰に激痛が走った。	44	19	418	10 ～ 29 人
8	2018	8	8 ～ 9	船内の車両甲板出入口付近にて可動橋のリモコン操作中、意識を失い倒れた際に40cmほどの段差のある窪みに落下し、体をぶつけたものである。	70	11	715	50 ～ 99 人
9	2018	11	11 ～ 12	桟橋に係留してある船から屋根を下ろす際、船が波で揺れたため船と桟橋の間（約25cm）に落下し、桟橋で左胸を強打して骨折した。	66	1	239	1～ 9人
10	2018	12	10 ～ 11	お客様を出迎えるため、屋外の階段を下りていたところ、足下をよく見なかったため、段差で足を踏み外した。体勢を崩して右手をついた際、手首に負荷がかかり、骨にひびが入った。	64	2	413	30 ～ 49 人
11	2018	12	7 ～ 8	カーフェリーの着岸作業中に、船から投げられた2本目の係船ロープを作業員4名で牽引する際、最後尾にいた被災者の左足に激痛が走り、左足ふくらはぎを負傷した。	64	19	921	30 ～ 49 人

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例まで（2018年）](#)に戻る。